

# FAX-MGCP トラブルシューティング ガイド

## 目次

### [概要](#)

[TGW - MGCP レグで着信ファックス コール](#)

[OGW - MGCP レグで発信ファックス コール](#)

[収集すべきデバッグ情報](#)

## 概要

この資料はこれらのステップを含むファクシミリを解決するために最も有効なアプローチの 1 つを記述したものです:

1. 2 つのレグにコールを分割して下さい。
  2. 各レグのプロトコル ( SIP/H.323/SCCP/MGCP ) を確認して下さい。
  3. レグを選択し、次にコールがそのレグで着信または発信であるかどうか、そして関連付けられるゲートウェイ/エンド ポイントは終端ゲートウェイ ( TGW ことを ) または相応じて発信ゲートウェイ ( OGW ) であるかどうか確認して下さい。
- 4 人の部にファックス コールを分割できます:

1. 音声コールを設定して下さい、ダイヤル オフフック、リング、返事 ( CNG ) 呼出すことおよび Equipment 呼出された Identification ( CED ) トーン
2. スイッチオーバー コーデック アップスピード/修正DSP でディセーブルにされる Voice Activation Detection ( VAD ) ジッタ バッファは適応性があるから固定最適値に移行しました
3. 前メッセージ手順 ファクシミリ端末装置識別機構機能は設定交換し、トレーニング
4. 内部メッセージおよびポスト メッセージ手順 ページの伝達誤り検出と訂正 ( ECM ) エンド・オブ・メッセージおよびページ確認オンフック呼出し切断

このコールフローは Media Gateway Control Protocol ( MGCP ) が確認されるプロトコルのとき探すためにメッセージが含まれています。 エンド ポイントが TGW または OGW であるかどうか基づく対応するセクションがあります。

注: 次の セクションの表では、T.38 両方のリレーおよびパススルーは同時にテストされ、G3 と SG3 の違いは指摘されました。

## TGW - MGCP レグで着信ファックス コール

次の注意してください。

- T.38 - Delay<1000ms は、Jitter<300ms、パケットロス冗長性の T.38 どれもであるはずでは

ないです。

- パススルー- Delay<1000ms は、Jitter<30ms、パケットロスどれもであるはずです。
- プロトコルは基づかせていましたスイッチオーバ-これは基づく規格です。
- NSE は基づかせていましたスイッチオーバ-これは専有で、Cisco 音声 ゲートウェイの間でだけはたります。

パススルー  
基づくプロトコル

基づく NSE

GW-----CUCM/GW

<-----CRCX-----

X が 1f L: p:20、 a: pCMU、 s: を離れて、 t:b8

M : recvonly

R: D/[0-9ABCD\*#]

Q : プロセス、ループ

-----200 OK----->

I: 3

!--接続識別番号は 18

c=IN IP4 209.165.201.1

m=audio 18138 RTP/AVP 0 100

a=rtpmap:100 X-NSE/8000

a=fmtp:100 192-194

<-----MDCX-----

I: 3

X が 1f

L: p:20、 a: PCMU、 s: を離れて、 t:b8

M : sendrecv

R: D/[0-9ABCD\*#]

S :

Q : プロセス、ループ

!--接続識別番号は 18

s=Cisco SDP 0

t=0 0

m=audio 17314 RTP/AVP 0

c=IN IP4 209.165.201.2

基づくファクシミリ  
パススルー プロトコルは  
MGCP でサポートされ  
ません。

VTSP があるように示します確認して下さい:

By=Voice 無効ポートをファックスして下さい、

プライマリ ファクシミリ Protocol=NONE\_FAX

\_RELAY、

フォールバック ファクシミリ Protocol=NONE\_FAX

\_RELAY

-----200 OK----->



を使用します。プレイアウト遅延の現在の値をチェックするために `show voice port X/X/X` コマンドを入力して下さい。

## 基づくプロトコル

### 基づく NSE

G3 FAX:

GW-----CUCM/GW

====NSE192====>

パススルー モードへのアップスピード コーデックおよびスイッチ。

VTSP があるように示します確認して下さい:

*E\_DSM\_CC\_MODIFY\_*

*MEDIA\_IND*

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:

*Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00 <Snd>>>*

<====NSE192====>

VTSP があるように示します確認して下さい:

*E\_DSMP\_DSP\_REPORT\_*

*PEER\_TO\_PEER*

*\_MSG*

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:

*<<<Rcv> Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00*

基づくファクシミリ  
パススループロトコルは  
MGCP でサポートされ  
ません。

SG3 FAX:

GW-----CUCM/GW

====NSE192====>

パススルー モードへのアップスピード コーデックおよびスイッチ。

VTSP があるように示します確認して下さい:

*E\_DSM\_CC\_MODIFY\_*

*MEDIA\_IND*

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:

*Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00 <Snd>>>*

<====NSE192====>

VTSP があるように示します確認して下さい:

*E\_DSMP\_DSP\_REPORT\_*



>>>>>>>>>MCF>>>>>>>>>> ( メッセージ確認 )

<<<<<<<<<<DCN<<<<<<<<<< ( 接続解除 )

注: ECM は G3 のためにオプション、SG3 のために必須でありではない。パススルーの SG3 速度を実現できるように ECM がファクシミリ用のファクシミリで成功するためにイネーブルになっていることを確かめて下さい。

また、G3 に TCF トレーニング場合が必要となりますが、SG3 のための適用されません。

注: パススルーに関しては、64kbps ( g711 ) の共通チャンネルは割り当てられます。このように、メッセージのより高いのおよび低速は関係がなくなります。

基づくプロトコル

基づく NSE

「conf t」 水平な構成:

```
## mgcp デフォルト パッケージ fxr パッケージ無し  
## mgcp パッケージ機能 fxr パッケージ無し  
## mgcp モデム パススルー VOIPモード nse  
## mgcp モデム パススルー voip コーデック g711ulaw  
## mgcp ファクシミリ t38 は禁じます  
## mgcp ファクシミリ t38 NSF 000000  
## ccm-manager ファクシミリ プロトコル無し  
## mgcp ファクシミリ t38 ecm 無し
```

N/A

## OGW - MGCP レグで発信ファックスコール

次の注意してください。

- T.38 - Delay<1000ms は、Jitter<300ms、パケットロス冗長性の T.38 どれもであるはずではないです。

- パススルー- Delay<1000ms は、Jitter<30ms、パケットロスどれもであるはずですが。
- プロトコルは基づかせていましたスイッチオーバ-これは基づく規格です。
- NSE は基づかせていましたスイッチオーバ-これは専有で、Cisco 音声 ゲートウェイの間でだけはたります。

パススルー  
基づくプロトコル

基づく NSE

GW-----CUCM/GW

<-----CRCX-----

X が 1 つの L: p:20、 a: PCMU、 s: を離れて、 t:00

M : recvonly

R: D/[0-9ABCD\*#]

Q : プロセス、ループ

-----200 OK----->

I: 2

!--接続識別番号は 18

c=IN IP4 209.165.201.1

m=audio 18138 RTP/AVP 0 100

a=rtpmap:100 X-NSE/8000

a=fmtp:100 192-194

<-----MDCX-----

I: 2

X が 1

L: p:20、 a: PCMU、 s: を離れて、 t:b8

M : sendrecv

R: D/[0-9ABCD\*#]

S :

Q : プロセス、ループ

!--接続識別番号は 18

s=Cisco SDP 0

t=0 0

m=audio 18912 RTP/AVP 0

c=IN IP4 209.165.201.2

基づくファクシミリ  
パススルー プロトコルは  
MGCP でサポートされ  
ません。

VTSP があるように示します確認して下さい:

By=Voice 無効ポートをファックスして下さい、

プライマリ ファクシミリ Protocol=NONE\_FAX

\_RELAY、

フォールバック ファクシミリ Protocol=NONE\_FAX

\_RELAY

-----200 OK----->





PEER\_TO\_PEER  
\_MSG

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:  
<<<Rcv> Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00

=====NSE192=====>

VTSP があるように示します確認して下さい:

E\_DSM\_CC\_MODIFY\_  
MEDIA\_IND

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:  
Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00 <Snd>>>

SG3 FAX:

GW-----CUCM/GW

<=====NSE192=====

パススルー モードへのアップスピード コーデックおよびスイッチ。

VTSP があるように示します確認して下さい:

E\_DSMP\_DSP\_REPORT\_  
PEER\_TO\_PEER  
\_MSG

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:  
<<<Rcv> Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00

=====NSE192=====>

VTSP があるように示します確認して下さい:

E\_DSM\_CC\_MODIFY\_  
MEDIA\_IND

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:  
Pt:100 Evt:192 Pkt:00 00 00 <Snd>>>

<=====NSE193=====

ディセーブル ECAN。

VTSP があるように示します確認して下さい:

E\_DSMP\_DSP\_REPORT\_  
PEER\_TO\_PEER  
\_MSG

voip rtp セッション名前付きイベントをデバッグして下さい:  
<<<Rcv> Pt:100 Evt:193 Pkt:00 00 00

=====NSE193=====>

VTSP があるように示します確認して下さい:



基づくプロトコル

基づく NSE

conf t」 水平な構成:

## mgcp デフォルト パッケージ fxr パッケージ無し

## mgcp パッケージ機能 fxr パッケージ無し

## mgcp モデム パススルー VOIPモード nse

## mgcp モデム パススルー voip コーデック g711ulaw

## mgcp ファクシミリ t38 は禁じます

## mgcp ファクシミリ t38 NSF 000000

## ccm-manager ファクシミリ プロトコル無し

## mgcp ファクシミリ t38 ecm 無し

N/A

## 収集すべきデバッグ情報

- debug vpm all ( FXS の場合には )
- debug isdn q931 ( PRI の場合には )
- debug mgcp packet
- デバッグ voip vtsp すべて
- デバッグ voip dsmp すべて
- デバッグ voip hpi すべて
- デバッグ DSP リソース屈曲すべて
- デバッグ voip dspapi
- debug fax relay t30 all-level-1
- デバッグ voip rtp セッション名前付きイベント ( NSE によって基づくスイッチオーバーの場合には )